



**シラバス参照**

タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「行政政策学類」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	スタートアップセミナー		
担当教員	<a href="#">長谷川 珠子</a>		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	行:D
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g1110010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	50 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	30 %
		社会の改善につなげる創造性	0 %
		市民としての主体的態度	0 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	<p>大学では、試験やレポートで文章を書く機会が増えます。また、卒業するためには卒業論文も書かなければなりません。しかしながら、上手に文章を書けない学生も少なくありません。それは、まとまった形の文章を書く機会や文章の書き方を学ぶ機会が、これまでなかったからなのだと思います。そこでこの演習では、テキストを使って、文章を書くための練習をしたいと考えています。授業計画にもあるように、学ぶ前に簡単な文章を書いてみて自分の文章がどんなものか知ってみましょう。次にテキストをみんなで読み、文章の書き方を学びます。そのうえで、再度文章を書いてみて、自分の成長の度合いを知ってもらいたいと思います。また、ゼミでは、他のゼミ生の文章をみんなで読んで、それぞれの文章の良い点や悪い点を指摘し合い、それを自分の文章作成にも活かしてもらいます。私自身もあまり文章を書くことは得意ではありません。ですので、文章を書くことに苦手意識を持っている人も、むしろ得意だ！好きだ！と思っている人も、是非、よりよい文章を書けるように、一緒にがんばりましょう。</p>		
単位認定基準	<p>与えられた課題をしっかりとこなす ゼミで報告を行う ゼミで積極的に発言する 自分の文章の良い点と悪い点を把握する よりよい文章が書けるようになる</p>		
授業計画	<p>(1)ガイダンス・自己紹介等 (2)簡単な文章を書いてみる (3)みんなの文章をみんなで読んでみる (4)テキストを読む (5)テキストを読む (6)テキストを読む (7)テキストを読む (8)テキストを読む (9)ゲスト講演 (10)ちょっとしっかりしたレポートを書いてみる (11)みんなのレポートをみんなで読んでみる (12)みんなのレポートをみんなで読んでみる (13)レポートを書き直してみる (14)予備 (15)問題探究セミナー に向けた準備</p> <p>受講生の人数やみなさんの(そもそもの)文章作成能力等により、演習の内容を若干変更することがあります。</p>		

教材・教科書	石黒圭『論文・レポートの基本』（日本実業出版社、2012年） 古賀史健『20歳の自分に受けさせたい文章講義』（星海社新書、2012年） その他、演習の中で指定します。
参考図書	適宜、演習のなかで指示します。
参考URL	
授業以外の学習	文章の書き方を学ぶゼミなので、いろんな文章に接するようにしてください。加えて、いろんなことに興味をもって、見たり、聞いたり、体験したり、話したり、考えたり、書いたりもしてみてください。
成績評価の方法	8割以上の出席が前提となります。その上で、演習での報告・発言・提出物などを総合的に評価します。
成績評価の基準	S:単位認定基準のすべてを高い水準で満たしている。 A:単位認定基準をすべて満たしかつ3つ以上を高い水準で満たしている。 B:単位認定基準のすべてを満たしている。 C:単位認定基準の3つ以上を満たしている。 F:単位認定基準が2つ以下しか満たされていない。
オフィスアワー	木曜日5時間目
授業改善・工夫	学生が発言しやすい環境を作ります。和気あいあいとした楽しいゼミにしましょう。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	

